

実施施策

主要施策1 既存バス路線網の改善

各市町村等が運行するコミュニティバス等の末端交通とも連携しながら、住民の移動ニーズを考慮した路線・ダイヤの実現を目指します。

主要施策2 地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法の検討

のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ空港乗合タクシーに代わり、地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法を検討します。

主要施策3 あき総合病院前駅（仮称）の設置

県立あき総合病院の立地を活かすため、あき総合病院前駅（仮称）を設置し、新たな鉄道利用者の獲得による収益の向上を目指します。

補助施策1 交通結節点の強化

- 交通結節点での乗継利便性向上
- 待合施設の環境整備
- パークアンドライド用の駐車場・サイクルアンドショップライド用駐輪場の整備
- 交通結節点における案内表示の多言語化・多目的化

補助施策2 利用促進の強化

- 児童・生徒向けの運賃割引制度の導入と広報
- 安芸駅以東での複数路線間の乗り継ぎ時における運賃低減策の導入
- 地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図の作成
- 地域内の公共交通に関する情報提供サイトの一元化

補助施策3 需要量にあわせた運行形態の見直し

補助施策4 人材確保に向けた広報・啓発

補助施策5 新たな交通モードへの対応

評価指標

評価指標	現状	目標値（2024.3時点）
15歳以上通勤・通学者の鉄道・乗合バス利用率	5.8% （2010年度）	7.9%以上
路線バスの1便あたり乗客数	安芸～室戸～甲浦線：470人／日 安芸～馬路～魚梁瀬線：27人／日 （2018年度・平日）	現状維持
新たな交通結節点・地域拠点へのバス路線の乗り入れ	—	2箇所
来訪者の地域内における公共交通利用率	8.9% （2015年度）	11.5%以上
ごめん・なはり線の平日1日あたり利用者数	2,071人／日（2018年度）	2,203人以上
ごめん・なはり線の朝ピーク時乗車率	99.2% （2017年度）	93.6%以下
業界専門の就職イベントへの参加回数 （土佐くろしお鉄道・高知東部交通）	—	各2回／年以上
交通事業者の新規採用数 （高知東部交通）	—	4名以上



計画のねらい

高知県東部広域地域内の公共交通機関（土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線、高知東部交通バス（3路線）等）は、地域住民の日常生活を支える基幹的な移動手段としてだけでなく、地域の活性化の大切な要素の一つである「ヒトの流動」を維持・活性化させるために重要な資源となっているが、近年は、沿線人口の減少等により利用者の減少が続いており、今後も経営環境は厳しさを増すことが想定される。

そのため、鉄道や路線バス等の広域的かつ幹線的な公共交通及びそれに接続する支線的な公共交通（移動手段）について、将来にわたって持続可能なものにするを目的として、本計画を策定する。

《対象地域》

東部広域地域11市町村
室戸市・安芸市・南国市・香南市・東洋町・奈半利町・田野町・安田町・北川村・馬路村・芸西村



《計画期間》

2019年4月～2024年3月

地域の現状

- 人口減少・少子高齢化の深刻化
- 地域内から高知市、地域東部から安芸市への移動が多い
- 移動手段は自動車为主（高齢運転者の割合が増加）
- 路線バス・鉄道・タクシーとも、長期的には減少傾向
- 高知県への観光客数は増加傾向（自動車での移動が主）
- 交通事業者における運転手の高齢化及び人材不足
- 高速道路等の整備、DMVの導入

地域の公共交通が抱える課題

課題1. 利用者が少ない路線や便の存在

課題2. 生徒や高齢者のニーズへの対応
生徒のニーズとの隔たり、高齢者の公共交通に対するニーズの高まり

課題3. 観光客のニーズとの隔たり
高知龍馬空港から地域内へのアクセス環境の不足、利用者のニーズに対応できていない情報提供手法

課題4. まちづくりとの連携

県立あき総合病院へのアクセス、拠点施設と交通結節点の一体的整備、高速道路等の開通による利用者減少の危惧

課題5. 利用者ニーズに応えるための交通資源の確保

事業者の人材不足、車両規模や運行頻度と需要の不一致

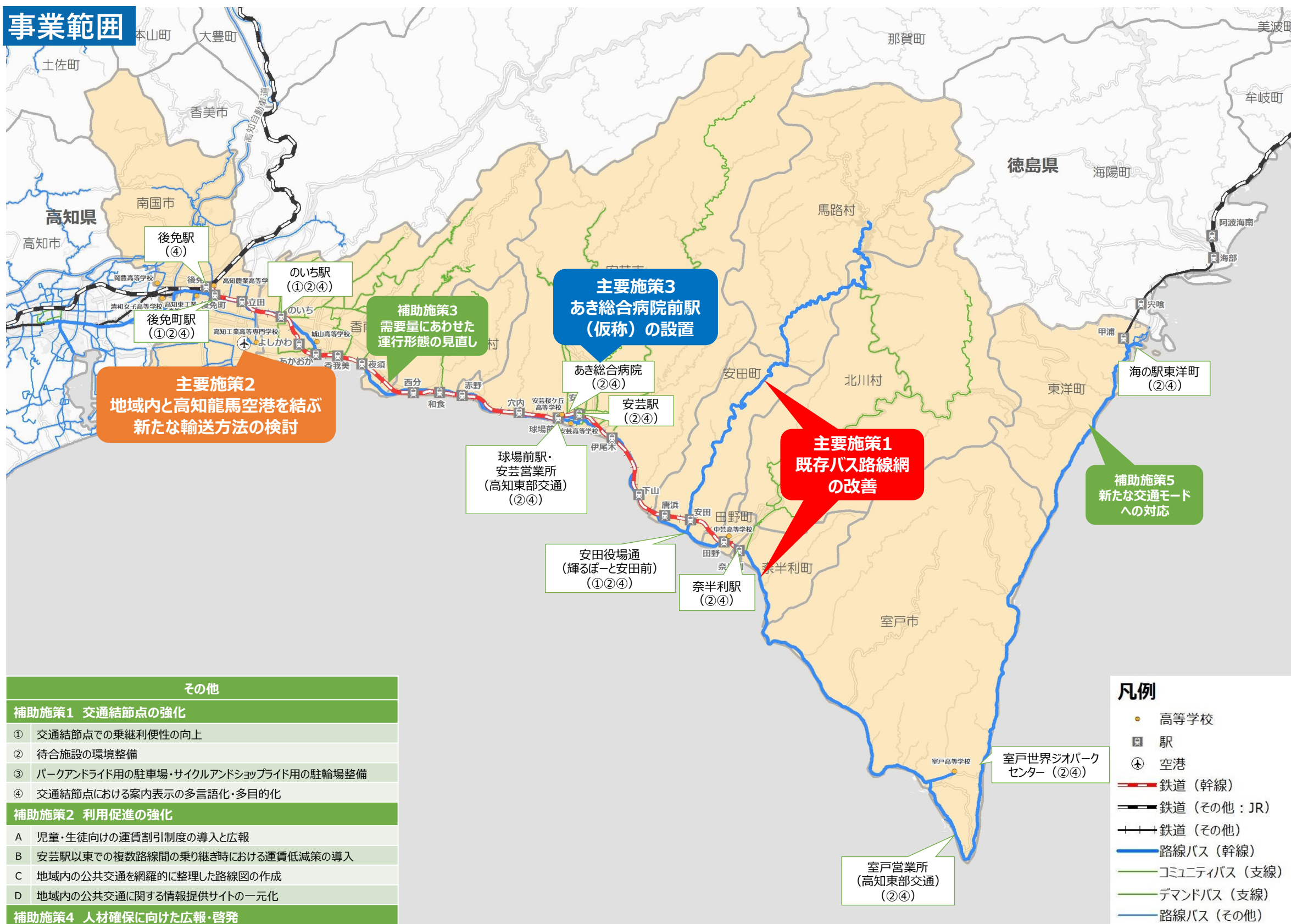
基本方針

1 地域内の公共交通（バス、鉄道、タクシー等）が連携し、「使いやすい」公共交通を目指します

2 地域住民の生活（通勤・通学、通院等）や地域を訪れる方の移動で「使える」公共交通を目指します

3 公共交通の利用環境（待合施設、車内環境、各種サービス等）を強化し、「使いたくなる」公共交通を目指します

事業範囲



その他	
補助施策1 交通結節点の強化	
①	交通結節点での乗継利便性の向上
②	待合施設的环境整備
③	パークアンドライド用の駐車場・サイクルアンドショップライド用の駐輪場整備
④	交通結節点における案内表示の多言語化・多目的化
補助施策2 利用促進の強化	
A	児童・生徒向けの運賃割引制度の導入と広報
B	安芸駅以东での複数路線間の乗り継ぎ時における運賃低減策の導入
C	地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図の作成
D	地域内の公共交通に関する情報提供サイトの一元化
補助施策4 人材確保に向けた広報・啓発	

計画目標

- 1：市町村内・地域内・地域外のそれぞれの移動ニーズにあわせた公共交通ネットワークの再構築
- 2：異なる交通モード間のスムーズな乗換環境の整備
- 3：地域の観光資源を生かすための公共交通利用環境の改善
- 4：持続可能な公共交通運行に向けた交通資源の見直し
- 5：新たな公共交通利用者確保に向けた利用促進策の実施